

72期 進路だより

大阪府立富田林高等学校
72期生 3年 第2号
2019年 5月 30日

成績が上がるには時間がかかる

5月18日(土)、3年生の保護者向けに進路講演会が開かれました。たくさんの保護者の方が参加してくださいましたが、河合塾進路アドバイザーの方が話された内容を皆さんにも少し紹介したいと思います。

今回覚えてほしいことほしいことは二つ。

▼71期生センター試験までのマーク模試点数推移(英語)

①成績が上がるのは少し先!

②入試が近づけば誰でも勉強する。勝負は6月!

5月23日(木)の進路HRでも花岡先生から「勉強の成果が出るのは3か月後」というお話があったと思います。果たして本当なのか?本当なんです。このことは皆さんの先輩である71期生のデータからもよくわかります。

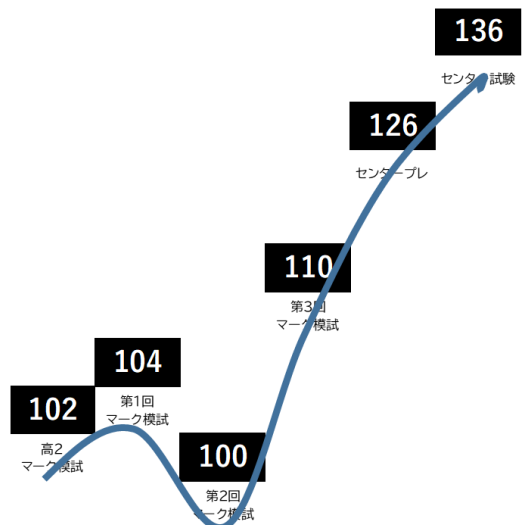
先輩の成績推移をみると、高3第2回のマーク模試ではなんと成績が下がってしまっています。でもその後はセンター試験本番までぐんぐん成績が上昇していますね。

高2マーク模試で成績が下がった人は恐らく多いと思われませんが、その後の伸びは学習時間をキープした結果でしょう。成績が下がってしまっても、日々勉強を頑張っているのでは

あれば、まずは落ち着いてこのデータを思い出してください。そのときの結果だけを見て(もちろん結果の分析・反省・復習は必要ですが、)過剰に落ち込まず、今するべき勉強をがむしゃらに続けてみてください。

さらにここでデータをもう一つ。下は講演会で配付された資料に載っていた表です。合格者と不合格者の勉強時間とその差異がわかります。「入試が近づけば勉強をする。6月で勝負は決まる(当日配付の資料より)。」入試を考えている高校生であれば、勉強するのは当たり前すぎるくらい普通のことです。勉強の中身も大切ですが、皆さんは「3年生の今必要な」勉強時間を確保できていますか?

	6月	夏休み	10月	12月	1月
合格者	4.5	8.5	5	5.5	5.8
不合格者	2.4	5	3.8	4.3	5
差	2.1	3.5	1.2	1.2	0.8



例えば6月であれば、1日単位で見れば2.1時間の差ですが、2.1時間×30日=63時間の差。63時間といえばかなり大きな数字です。皆さんはこの差をどう考えるでしょうか。

▲71期生センター試験までのマーク模試点数推移(英語)

4月の毎日の学習平均時間は**2.9時間**でした(月の学習時間平均は87.1時間)。また、毎日勉強した人は79人で全体の32.5%でした。勉強は学年全体やクラスでの雰囲気も大切です。勉強する環境をしっかりと整えてください。